

7月25日（火） 飯島研究会 深海展に行く

飯島教授と飯島研究会の学生、教授の授業を受けている学生たちは7月25日に国立科学博物館の深海展に行った。音声ガイドを使いつつ、より深海への理解を深めた。



まず、彼らを待っていたのは深海生物の展示。剥製や模型、映像資料などが用いられ、どんな生物がどのように生息しているかがわかりやすく展示されていた。

また、東日本大震災を題材に深海と災害の関係性に関する展示もあった。災害の起きるメカニズムが説明されていたほか、この震災が日本の海にどのような影響を与えたかが解説されていた。中でも、音声ガイドのナビゲーターを務めていた中川翔子さんが潜水調査船に乗った感想を述べたコーナーにより海の中がより近く感じられるようになっていた。

他にも深海資源についての展示コーナーでは深海に存在するエネルギー資源や鉱物資源の紹介がなされており、筆者自身も初めて知ったことが多かった。

深海展を見学したのち、国立科学博物館の近くにある東京藝術大学の学食にて昼食をとり、上野駅にて解散した。この見学を通して、文系の学部にも所属している自分たちにとって普段

馴染みのない分野であったため、見るもの全てが新鮮に感じた。しかし、展示の中に深海に生命の起源に迫るヒントがあるとあり、身近に感じられる場面もあった。これにより、また一つ貴重な経験を積むことができたのではないかと思う。

当日の写真



ダイオウイカの模型（実寸大）



深海の資源を用いた光る花